

業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合
2022. 3. 18

No. 667

2022春闘交渉 最終回答

本部は、3月17日、2022春闘最終回答を受けました。以下、報告します。

「会社」

新賃金については、定期昇給を実施すると共に2022年7月1日現在(昇給前)の基本給に0.1%(平均300円)を乗じた額を加える。それに伴い、「基本給表」を別紙1の通り改定する。

プロフェッショナル職群の高卒初任給を2000円引き上げ、168000円とする。それに伴い、「年齢別による保障基本給」を別紙2の通り改定する。

実施日を2022年7月1日とする。

「組合」

これまでの春闘において「定率ベア」は初めてのことであり大変違和感を覚える。給与の低い若年層組合員からは、不満が多くあり「定額ベア実施」を強く求めたい。

しかしながら、昨今の会社の状況を踏まえた上で「ベア実施」を判断した事は、大いに評価できる。「定率ベア実施」には不満も多くあり、要求額とも乖離があり、大変不服ではあるが「ベア実施」を高く評価し、席上妥結とする。

(補足)

- ・3月25日に支給される基本給をベースとして計算されます。
- ・基本給に0.1%乗じる(100円未満切り上げ)
(例)基本給258000円の場合、0.1%は258円となりますが、100円未満切り上げとなりますので、ペア300円となります。
- ・シニア社員も基本給に0.1%乗じる(100円未満切り上げ)
- ・契約社員は基本給に1.8%乗じる(100円未満切り上げ)。6月清算で4月遡り。
- ・2021年4月入社のプロフェッショナル群ビギナーにも基本給に2,000円加える。(0.1%含む)
- ・コロナワクチン接種後、副反応により会社を休む場合、「障害」扱いとすることを検討します。
※現在出ている通達に追加するイメージ。諸懸案の整理ではありません。

「回答書」・「基本給表 別紙1 別紙2」・「賃金加算 諸元(推計)」は、本部役員、各地区本部役員に送信してありますので、ご確認ください。

以上
